

熱田神宮へのご奉納について

1. 奉納承諾の経緯

2月に島根に来た際に、正式に和野の渉外として名刺を頂いたので、恩田さん、小田さん、足立さんの3名に「熱田神宮でご奉納したいと思っているので、お願いしに行ってもいいですか?」と確認したところ、「大いにやって下さい!」と言われました。

たまたまその時は、次の日曜に大阪でセミナーの予定の後、月火と東京で別のセミナーの予定が入っていたのですが、月曜の東京のセミナーが直前でキャンセルとなりました。その上、もともと新幹線で移動するはずだったのに大雪のため富山に帰れなくなり、急遽、車で大阪から東京に移動する事になったので、途中、月曜に名古屋に寄る事にしました。こうして幾つかの偶然が重なり、私は熱田神宮にお参りに行く事になったのです。

本殿で「私、ここで神楽をご奉納したいから、あとの事は神様よろしくね!」とお願いしました。とは言え、どうすれば、こんなところでご奉納をする事ができるのか、まったくわからなかった私は、とりあえず、近くでおみくじを売っている綺麗なお姉さんに、ちょっと聞いてみる事にしました。するとお姉さんは地図をくれ、「この地図の19番の社務所に行ってください」と言ったので、社務所に行って受付のお姉さんに名刺を出して「カクカクシカジカ」と言ったところ、「では、こちらでお待ちください」と言われて応接室に通され、少し待っていると、ビシッとスーツを来た男性が出て来ました。

その方は総務課長の望月さんという方でした。何も準備していないのに、いきなり偉い人が出てきてびっくりしたのですが、もうこうなったら喋るしかない!と思い、「カクカクシカジカ」と1時間ほど私の熱弁をご披露しました。望月さんは「ここでやらせて欲しいと色々な方々が何人も来るのですが、僕のところですべて断っています。でもこの話は僕は良いと思うので、上に通したいから文書で提出してください。」と言いました。

早速文書を作り、恩田さんに内容を確認してもらい、メールで送ったところ、赤ペンで大量の修正依頼が来ました。すべてを修正して再提出したところ、数日後、「宮司さん、権宮司さんから内諾をもらいました。」というお返事を頂きました。**※この時に提出した文書も別紙にありますので、是非ご一読ください。**

その後、4月2日に打ち合わせのために熱田神宮に訪問し、望月さんとお会いして、具体的な事をお話して来ました。この時まで私は、どこかで半信半疑な気持ちがあったのですが、実際に望月さんとお会いして具体的に奉納する場所を見せて頂いたり、お祓いを行って下さる事、控室や、なおらいの場所などもご案内頂き、この件に対して望月さんがどれだけご尽力して下さったのかが伺え、熱田神宮側の大歓迎でおもてなししたいという姿勢が伝わって来て、本当にありがたくて、涙が出る思いがしました。

2. 実際のスケジュール

①日程

ご奉納の日時は、6月21日（土）10時から15:30、という事なので、実際には、20日（金）朝出発、名古屋で2泊して、22日（日）に夜帰宅、2泊3日を予定しています。

②ホテル

参加人数は、養成塾の塾生が女6人男2人の計8人、神楽団10人、合計18人です。大勢が一ヶ所に泊まる事がとても難しく、今のところ東横インの中部国際空港のホテルにツイン9部屋を予約してあります。ここは朝食付きで1人1泊6000円くらいで格安です。神楽団10人2泊分は計24万円となります。

今のところ、ここを予約していますが、熱田神宮からかなりの距離があるので、もっと近くに良い条件のホテルがないか検討中です。

③移動手段

まず、マイクロバスですが、60万円ほどかかるそうですし、修学旅行シーズンのため、山陰地方にバスは一台も残っていない、という事でした。新幹線や飛行機だと1人3～5万円ですが、大勢のチケットを格安で取る事が難しかったり、早く予約を確定する必要があったり、キャンセルや変更ができなかったりします。10人分だと新幹線や飛行機は30～50万円以上になる上、荷物代が別途かかる事になります。

以上により、現実的な移動手段は車となります。和野には8人乗りの車がありますので、それも利用して、今のところ大き目のレンタカー3台を予約してあります。というのは、最初、普通の8人乗りを2台（各約5万円）予約したのですが、岩戸の鳥居が大きいという事だったので、10人乗りのハイエース（8万円）も追加予約しました。

車の場合、往復の高速代2万円、ガソリン代2万円、計4万円程度。レンタカー代と合わせても1台につき約10万円程で往復できます。和野車、レンタカー2台の計3台あれば、25万円くらいの予算でおさまるかな、と予測しています。

※荷物代に関しては、業者に頼んだ場合、どのくらいになるのか、私には検討もつかないので、どなたか見積をお願いできますでしょうか？

ハイエースは高額なので、荷物を業者に頼んだ方がハイエースを借りるより安いのであれば、ハイエースの予約はキャンセルし、レンタカーも1台だけで済むかもしれません。

他にもっと安い方法があるようでしたら教えて下さい。いずれにしても10人分のホテル代と移動代と荷物運搬代で、50万円以内でなんとかしたいというのが、私の希望です。

3. ご奉納の目的

私が熱田神宮に提出した文書をお読み頂ければおわかり頂けると思いますが、今回のご奉納の主な趣旨は、①神様へのご挨拶と、②後継者の育成です。

「岩戸の演目はやめた方がいい」という声もあるようにお聞きしましたが、**そんな事は絶対にできません**。熱田神宮のご祭神である**剣と天照大神と須佐之男命と日本武尊**とが登場する神楽をご奉納する事で、神様に喜んで頂きたい、という思いからお願いしたからこそ、神様から召喚されて、ご奉納が許されたのに、人間の都合で天照大神だけが無視され軽んじられたとなれば、最高の侮辱にあたり天照大神の怒りを買う事になります。そんな事をするくらいなら、むしろ**最初から行かない方がまし**です。

また「**車で行くには運転する人がいない**」という声もあるようですが、私自身は富山から10時間かかる運転を毎回一人で行っています。最近名古屋経由で島根に来るようになり、「富山に比べれば、島根と名古屋は近いな」とさえ思っているくらいです。通常であれば休憩時間を入れても8時間程度で到着できます。

「**人を乗せて運転する事に責任を感じる**」という声もあるようですが、誰か一人が重責を追うのではなく、「**全員が最低2時間は運転をする**」というルールにすれば、一人の負担は少なくて済むし、全員が同じ立場となるはずです。

※但し、恩田さんは車での長距離は難しいという事なので、養成塾の講師である恩田さんと小田治さんに関しては特別に別途、電車か飛行機を手配させていただきます。

後継者の育成を目的としている以上、できるだけ若い方に参加して欲しいため、「**最低2時間の運転をする事**」を参加条件としています。他の神楽団の方に参加を依頼する時も同じです。足立さんがドイツ公演をきっかけに神楽に本気になったように、この熱田神宮の機会を後継者育成のために有効に活用して頂きたいと思います。

4. 参加費用と条件

以下の条件により、移動代、ホテル代（2泊朝食付）、荷物運搬代、当日の昼夕食は、すべてこちらで負担&手配します。

但し、移動中、サービスエリアで取る食事代などは自己負担となります。また、お祓いをして頂く際の「初穂料」は、個人の気持ちで包んでください。「金額は幾らでもよい」と言われていますが、当日はあちらの配慮で、一般の人は入れない中庭にも特別に入れて頂いてお祓いもして頂けるという事ですし、すてきな会場で「なおりえ」を行って下さるそうなので、その点も考慮した上で金額は判断して下さい。

ざっと計算すると全部で60万円位かかると思います。単純に10人で割ると、1人6万円の参加費となります。但し、下記の4つの条件により、神楽団の参加費は私の方で全額負担させていただきます。

- ①私の趣旨に賛同し、是非参加したいので、出演料は不要な方。（他の神楽団の方
にお願いして出演料を出す場合、その方には参加費6万円をお支払い頂きます。
但し、その方が出演料を辞退する場合は、参加費も不要です。）
- ②車の運転を最低2時間できる方（恩田さん、小田治さんは除く）
- ③岩戸の演目の奉納 ④三島兄弟の参加

私としては、無理難題を押し付けているわけではなく、そもそもの趣旨は、①神様へのご挨拶と、②後継者の育成のため、なので、「岩戸をやらない」とか「若い人が参加しない」とかなら、やる意味がなく、私も60万円もお金を出す甲斐もありません。

既に私はアパート維持費6万円と往復の交通費4万円で、毎月10万円かかっており、最初の敷金礼金等を入れるとざっと100万円ほど既に神楽のために使っています。これは自分が好きでやっている事なので文句はありませんが、このままでは和野が消えてしまうから本気で何かしなくちゃ駄目だ！と思ったからこそ、私なりの覚悟を示すためにアパートを借りる事にして、私ができる事を試行錯誤で頑張ってきたわけです。

私の考えに賛同してくれた人達が少しずつ増えて、神楽養成塾のメンバーも集まってくれたし、熱田神宮の望月さんも上司を説得して下さいました。本来であれば、もっと綿密に計画して、資金繰りなどもきちんとやってから行うべき事でした。何も考えず、準備もせず、フラッと立ち寄ったら、奉納の許可が出てしまって、私自身もびっくりしており、実際に行くことになってみて色々具体的に計画してみたら、とんでもない事になってしまった事に気がついて愕然としている、というのが正直なところです。

クラウドファンディングなどで資金を集める計画ではありますが、これ自体とても大変な事ですし、不確定要素も大きく、もしかしたらうまく資金が集まらないかも知れません。なので、たとえそれが駄目だったとしても、私自身が全額自腹を切る覚悟でやっています。ただ、奉納する事になった経緯を考えると、これは神様が望んでおられる事であり、私達は神様に召喚されたのだから、神様が私にそんな負債を負わすはずがないし、たとえ負ったとしても、それは浄財と受け止めて、ありがたくお支払いするつもりです。

次回また、5月1日に望月さんにお会いする事になっています。もし、山王寺の皆さんが「大変だからご奉納に行きたくない」、「石橋の条件なんて無理だから、ご奉納をお断りしたい」という事なのであれば、残念ですが、お断りして来ます。皆さんに喜んで頂いていないのであれば、大金をはたいて無理してやる意味がありません。4月28日に皆様にお会いした際に、どちらにするのか、お答えを頂きますよう、お願い致します。